



エコアクション 2 1

環境活動レポート

(平成 2 1 年 4 月 ~ 平成 2 2 年 3 月)

平成 2 2 年 6 月 発行



このシンボルマークは、九電グループが取り組む4つの事業領域(総合エネルギー事業、情報通信事業、環境・リサイクル事業及び生活サービス事業)を「4つ葉のクローバー」でデザインしたもので、クローバーの茎は、Energy、Ecolgoyなどの「e」を意味し、九州電力がグループ全体の事業活動を通じて環境活動を推進していく姿勢を表現しています。



1 はじめに

株式会社キューデンインフォコムでは、地球環境問題及び資源循環などの環境問題を真摯に受け止め、温室効果ガス削減などの環境活動を確実に実施するために、エコアクション21を活用した取り組みを展開しています。

また、九州電力グループの一員として、「九電グループ環境活動計画」及び「グループ環境目標」の趣旨を踏まえ、「環境経営を推進し、持続可能な社会の構築」を目指します。

2 環境理念・方針

株式会社キューデンインフォコムは、次の「環境理念・方針」の基づき環境保全活動に取り組んでいます。

環境理念・方針

【環境理念】

株式会社キューデンインフォコムは、ITコンサル事業及びデータセンター事業において、環境保全意識の重要性を認識し、豊かな社会とより良い地球環境の実現を目指します。

【環境方針】

- (1) 環境保全に関わる法関連規制の順守により、社会的責任を遂行します。
- (2) 循環型社会の形成を目指して、エネルギーや資源の有効利用、廃棄物の再資源化により、環境負荷(二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量)の低減に努めます。
- (3) あらゆる環境課題に積極的に取り組み、継続的な環境活動(グリーン購入の推進等)を通して、広く社会に貢献します。
- (4) データセンターサービス提供を通じ、ユーザー企業の環境負荷軽減に貢献します。
- (5) 環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。

制定日 2009年11月16日
株式会社キューデンインフォコム
代表取締役社長 津上賢治

なお、当社の環境方針は、「九州電力グループ環境憲章」と整合を図り定めています。



3 事業概要

(1) 事業者名

株式会社キューデンインフォコム

代表取締役社長 津上 賢治

(2) 所在地

〒810 - 0004 福岡市中央区渡辺通二丁目 1 番 82 号

(3) 環境管理関係の連絡先

環境管理責任者 : 管理部長 田中 智徳

環境管理担当者 : 同上

連絡先 : 092-771-8510

(URL : <http://www.qic.co.jp/>)

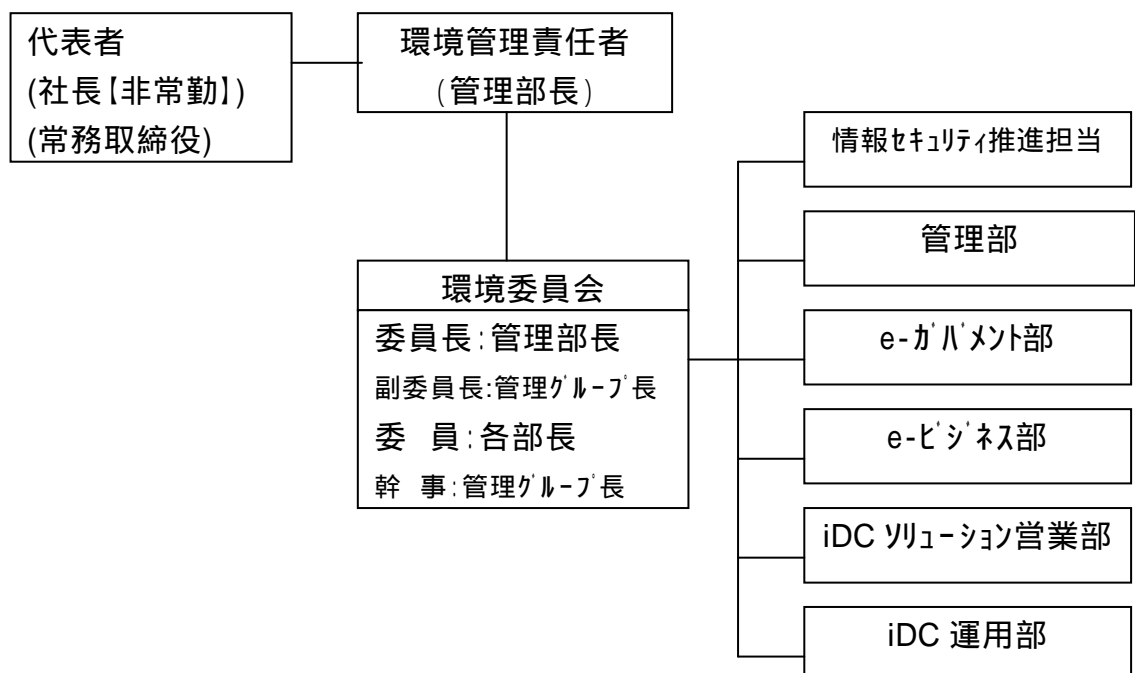
(4) 事業内容

IT コンサルティング事業、データセンター事業

(5) 事業規模

	単 位	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度
売 上 高	百万円	2,410	2,561	2,578
従 業 員 数	人	45	45	44
本社床面積	m ²	236	236	236

(6) 対象組織





4 環境目標(中長期目標)

当社の環境目標については、平成 19 年度実績値に対し、下表のとおり目標を掲げて、環境活動を展開しています。

項目	単位	平成 19 年度 実績	平成 20 年度 実績	平成 21 年度 実績	平成 22 年度 目標	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	4,141,018	4,442,601	4,974,629*	4,141,018	
	データセンターの PUE 指数低減 ¹	%	100	94.5	88.8	97
	本社使用電力量の 低減	kWh/m ²	98.4	97.9	100.2	99.0

*実排出係数に基づく排出量のみ記載

1 PUE(Power Usage Effectiveness)とは、データセンター全体の消費電力を、IT 機器の消費電力で割った値で、データセンターのエネルギー利用効率を示す指標の1つ。当社では、平成 19 年度の PUE の値を 100 に置き換えた。

5 主な環境活動の内容

項目	事業活動	主な環境活動の内容
二酸化炭素排出量	データセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・サーバ室空調環境最適化の検討 ・エアコン温度・運転の適正管理 ・昼休みの消灯 ・廊下やトイレの不必要な電灯の消灯
	オフィス活動	<ul style="list-style-type: none"> ・昼休み、会議室不使用箇所などの消灯の実施 ・冷暖房の温度調整を実施(夏:28、冬:19) ・エリア単位でのこまめな温度調整 ・使用しないパソコン・プリンターの電源 off の実施 ・電化機器の省エネタイプへの切り換え検討
廃棄物	古紙 一般廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> ・古紙、缶、ビン、ペットボトルなどの分別の徹底 ・古紙リサイクルの実施 ・電子媒体活用、両面印刷などによる用紙使用量の削減
その他	従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21の教育実施 ・事務用品のグリーン購入の実施 ・社会貢献活動への積極的な参加
	オフィス活動	<ul style="list-style-type: none"> ・事務用品のグリーン購入の徹底



6 環境目標とその実績

項目		単位	平成 21/4 ~ 22/3 (目標)	平成 21/4 ~ 22/3 (実績)	達成状況 ^{*1}
二酸化炭素	データセンター使用 電力量(PUE)の低減	%	平成 19 年度の数值 から 2%	11.2%	A
	本社使用電力量の 低減	kWh/m ²	99	100.2	B
廃棄物	機密文書リサイクル 率 ²	%	100	100 (1,200kg)	A
その他 ³	コピー用紙購入量	枚	485,000	514,023	B
	環境教育実績	人	120	135	A
	事務用品のグリーン購 入	%	63.0	84.0	A

1 達成状況評価:A 良好(目標以上を達成)、B やや未達成(90%以上を達成)、C 未達成(90%未満の達成)

2 廃棄物の排出量は機密文書のみを把握。

3 水の使用量は、テナントビルのため計測できませんが、定期的にトイレなど水周りの異状のチェックを行っています。



7 環境活動の取り組み結果の評価

(1) 二酸化炭素排出量

データセンター使用電力量(PUE 指数)の低減目標は、H19 年度と比較して 2%削減でしたが、結果は、11.2%減でした。

今後も、更なる削減のために、データセンターの空調環境最適化の検討結果に基づく具体的対策に取り組みます。

本社使用電力量の目標は、H21 年度目標(99 kWh/m²)の達成に向けて取り組んだ結果、100.2 kWh/m²となりました。今後は、昼休み、使用していない会議室などの消灯、使用しないパソコン・プリンターの電源 OFF の徹底を図るとともに、冷暖房の温度(夏:28、冬:19)設定およびエリア毎でのこまめな温度調節など使用電力量の抑制に取り組みます。

(2) 廃棄物排出量

廃棄物リサイクル目標は、H20 年度に引続き100%でしたが、機密文書に関して目標を達成しました。

また、古紙など機密文書以外も分別回収を徹底し、100%のリサイクルを達成しました。

今後は、電子媒体の活用及び両面印刷などにより、用紙使用量の削減にも引続き取り組みます。

(3) その他

社員への環境意識向上については、環境教育を 3 回/年実施し、延べ135人が受講しました。今後も継続していきます。

トイレなどの漏水のチェックを行い異状はありませんでした。

8 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

(1) 適用となる主な環境関連法規

適用法規	該当する活動
地球温暖化対策の推進に関する法律	・第2種エネルギー管理指定工場 ・CO ₂ 排出量報告など
エネルギーの使用の合理化に関する法律	
特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	・データセンター内の空調設備(HFC)が該当 ・空調設備点検時におけるフロンガスの放出防止など
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・一般廃棄物及び産業廃棄物の排出 ・廃棄物排出の際の適正処理(委託契約書、適正保管及びマニフェスト発行など)

(2) 違反、訴訟など

当社事業に適用される環境関連法規の順守状況を確認した結果、過去3年間違反はありませんでした。

また、関係機関などからの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

以上